

**平成28年度
鳥取県の政策に関する県民意識調査
【結果概要】**

**平成29年1月
鳥取県 元気づくり総本部 県民課**

鳥取県の政策に関する県民意識調査（概要）

鳥取県 元気づくり総本部 県民課

【アンケート結果の概要】

- 調査対象者：鳥取県内在住の18歳以上の者2,746人（震災のため倉吉市を除く）
- 抽出方法：住民基本台帳に基づく無作為抽出法
- 回答数：1,334人（回収率48.6%）
- 性別：男性575人（43.1%）・女性732人（54.9%）
- 年齢：18～19歳（0.8%）、20～29歳（7.8%）、30～39歳（11.2%）、40～49歳（18.1%）、50～59歳（19.5%）、60～69歳（24.2%）、70～79歳（9.8%）、80歳以上（6.7%）
- 調査期間：平成28年10月31日～11月25日
- 調査方法：アンケート調査票の送付

【結果まとめ】

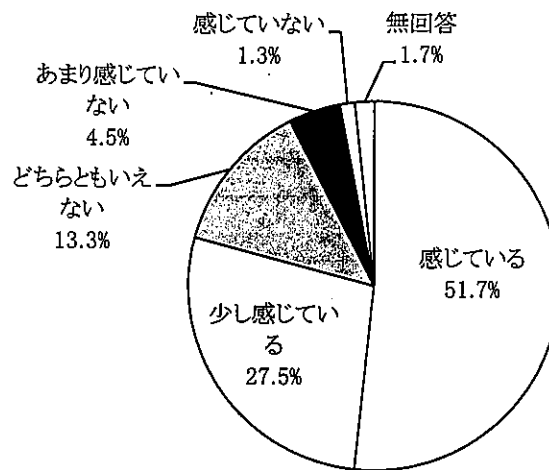
- 鳥取県に対して誇りや愛着を持っている方が多く、また豊かな自然環境に恵まれ、治安も良く、住民も親切で住みやすさを感じている。しかし、生活の中では公共交通機関の整備が遅れているという意見もある。
- 鳥取県の施策は、『観光資源を活用した誘客』『自然環境の保存・活用』『安心して出産や子育てできる環境』『地域犯罪や交通事故などを抑制・防止』『健康を守り、医療体制を強化する』等の取組は満足度が高いが、『農林水産・畜産業の担い手育成』『農業の活力増進』『中山間地域の安心と元気づくり』『若者の出会い、結婚応援』『働く場を確保する取組』『暮らしやすく、まちを元気にする取組』『県内交通の高速化』等の取組には不満が高い。
- 今後優先すべき施策として、『働く場を確保する取組』『住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造』『安心して出産や子育てができる環境づくり』『中山間地域の安心と元気づくり』『農林水産・畜産業の担い手育成』『健康を守り、医療体制を強化する取組』『災害に強いまちづくり・防災意識啓発の取組』が上がっている。
- 鳥取県人口の減少予測は、『知っていて関心がある』方が6割あり、今後の取組としては『雇用の場の創出の促進』『結婚や出産への支援、子育ての環境充実』『県内出身者のUターン促進』が重要だと感じている。
- 子育て施策については、出生率を上げるためには出産後の社会・職場への復帰への環境整備、保育料等の子育て世帯へ経済支援の強化を求めている。また、県の婚活支援事業に対しては肯定的な意見が多く、出会いや結婚は重要な問題であり、少子化対策にも繋がる取り組みと感じている。
- 移住定住施策としては鳥取県の住みよさをアピールしながら、就職、起業、就農など仕事の確保が重要であると答えている。
- 就業や雇用に関しては、『働く場の確保を強化すべき』と考え、今後は『農林水産・畜産業』『医療・介護福祉産業』等の産業分野が必要と感じている。

Ⅰ 鳥取県の住みやすさについて

- 鳥取県に対する愛着や誇りに思う気持ちは、約8割の人が「感じている」と答えている。
- 鳥取県で、今暮らしている地域は、約7割以上の人が「住みやすい」と答えている。
- 豊かな自然環境に恵まれていると感じている人が約9割と圧倒的に多く、また治安も良く、住民が親切で、人と人との繋がりがあると約6割の人が答えている。
- 生活の中で公共交通機関の整備は、約半数の人が「整っていない」と感じている。

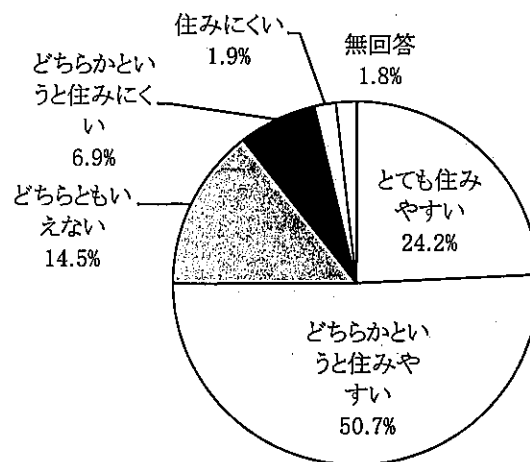
(1) 鳥取県に対しての愛着や誇りについて (問1)

～鳥取県に対しての愛着や誇りを感じている人が約8割～



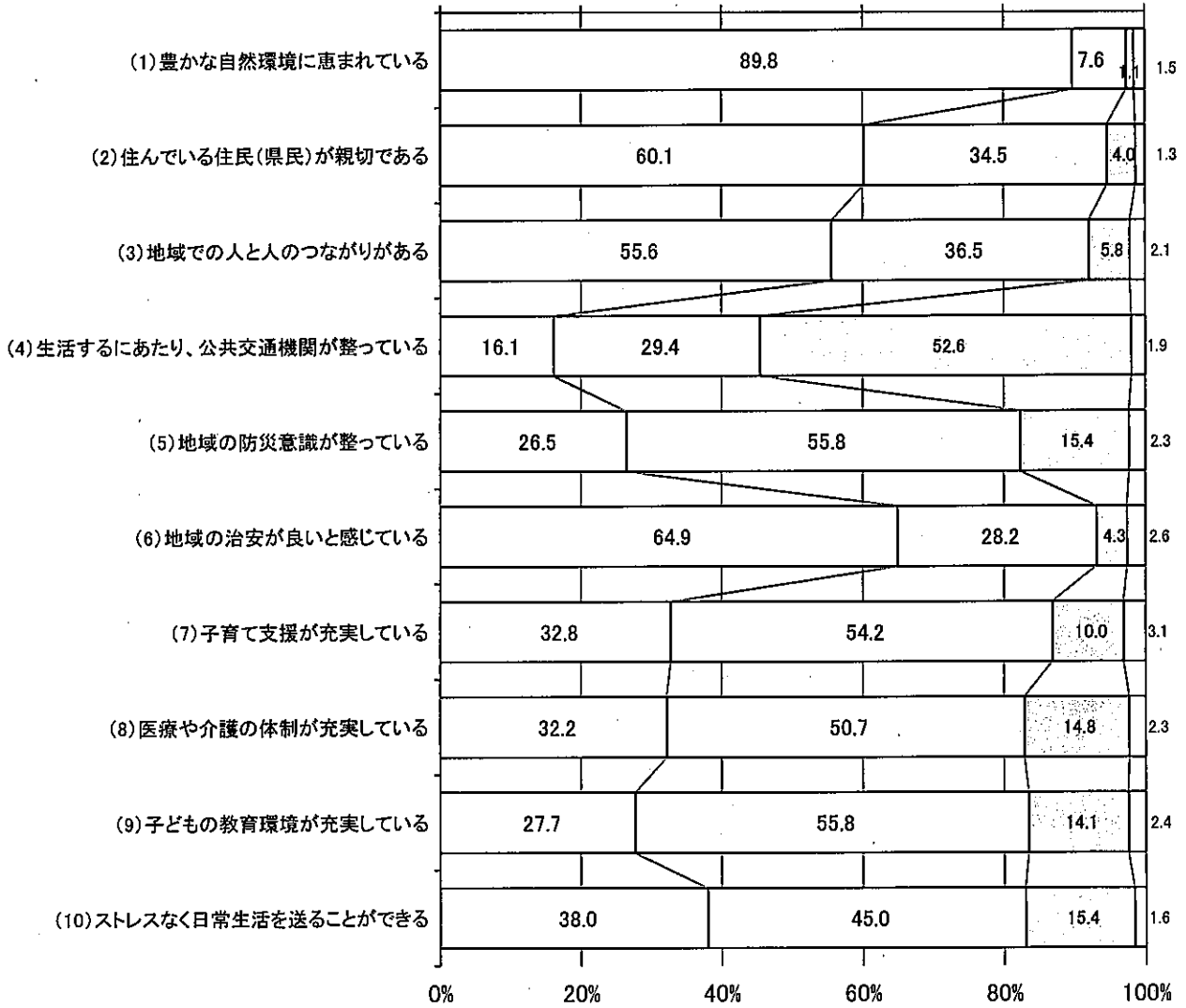
(2) 今暮らしている地域の住みやすさ (問2)

～7割の人が『とても住みやすい』・『どちらかという住みやすい』と回答している～



(3) 鳥取県内の暮らしについて (問3)

- ・豊かな自然環境に恵まれていると感じている人が約9割という結果になっており非常に高い。
- ・住んでいる住民(県民)が親切であると感じている人が6割、また、地域での人と人のつながりがあると5割以上が答えている。
- ・地域の治安は良いと感じている。



そう思う
 どちらとも言えない
 そう思わない
 無回答

II. 鳥取県の施策の満足度と今後の優先度について

【豊かな自然でのびのびと鳥取らしく生きる】

- 「農業の活力増進」「農林水産・畜産業の担い手育成」の農林水産関係、また「外国人観光客が訪れやすい観光地づくり」「鳥取県周辺地域と連携した観光客推進」等の観光関係に『不満』の意見が多い。しかし、「観光資源を活用した誘客の取組」「豊かな自然環境の保存・活用」「次世代エネルギーの推進や二酸化炭素排出量削減」等の取組には『満足』と感じている。

(今後優先すべき重要度の高い項目)

- 「農林水産・畜産業の担い手育成」「農業の活力増進」「農林水産物の販売」等の農林水産関係を優先すべきとして意見が上位を占めている。

【人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む】

- 「中山間地域の安心と元気をつくり出す」が『不満』の意見が最も多いが、「若者の出会い、結婚応援」「子どもたちに多様な学びの機会」「女性が活躍できる社会」も3割前後が『不満』を感じている。しかし、「安心して出産や子育てできる環境」は『満足』と感じている意見が多い。

(今後優先すべき重要度の高い項目)

- 「安心して出産や子育てができる」「子どもたちに多様な学びの機会」「女性が活躍できる社会」等の女性・子育てに関する項目、また「高齢者や障がい者が輝ける地域づくり」「中山間地域の安心と元気をつくり出す」等の意見が上位項目となっている。

【幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ】

- 「働く場の確保」「暮らしやすく、町を元気」「住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造」「新たな産業を生み出す」等に『不満』を感じている意見が多い。

(今後優先すべき重要度の高い項目)

- 「働く場の確保」「住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造」の取組を5割以上の方が優先すべきと答えている。

【県政のさまざまな取組】

- 地域犯罪や交通事故等の抑制・防止や医療体制の強化については、やや『満足』と感じている人が多いが、道路網の整備等県内交通の高速化については、約4割の人が『不満』を感じている。

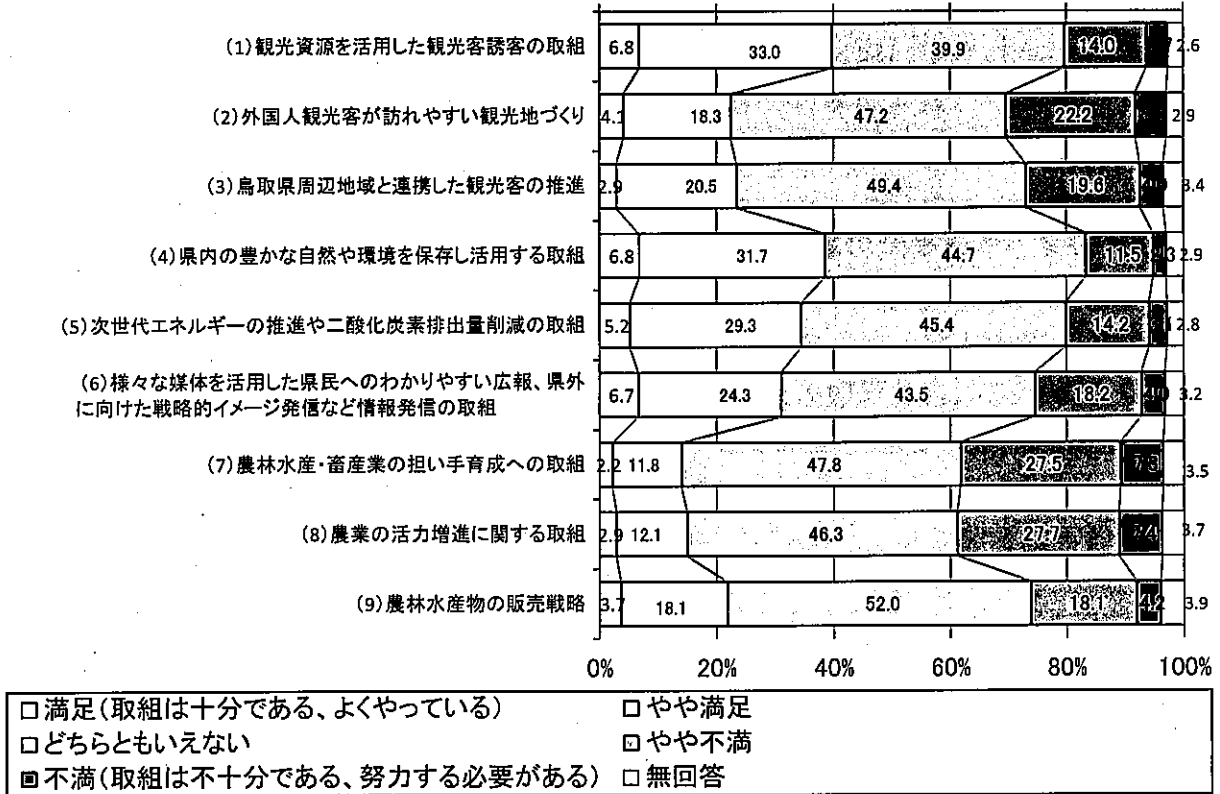
(今後優先すべき重要度の高い項目)

- 「災害に強いまちづくり・防災意識啓発」「健康を守り、医療体制を強化」「県内交通の高速化」を優先すべきと4割強の人が答えている。また「子どもの学力向上」も4割弱の人が重要だと答えている。

(1-1) 豊かな自然でのびのびと鳥取らしく生きる (問4【1】)

～豊かな自然環境の保存や観光資源を活用した誘客の取組について『満足』と感じているが

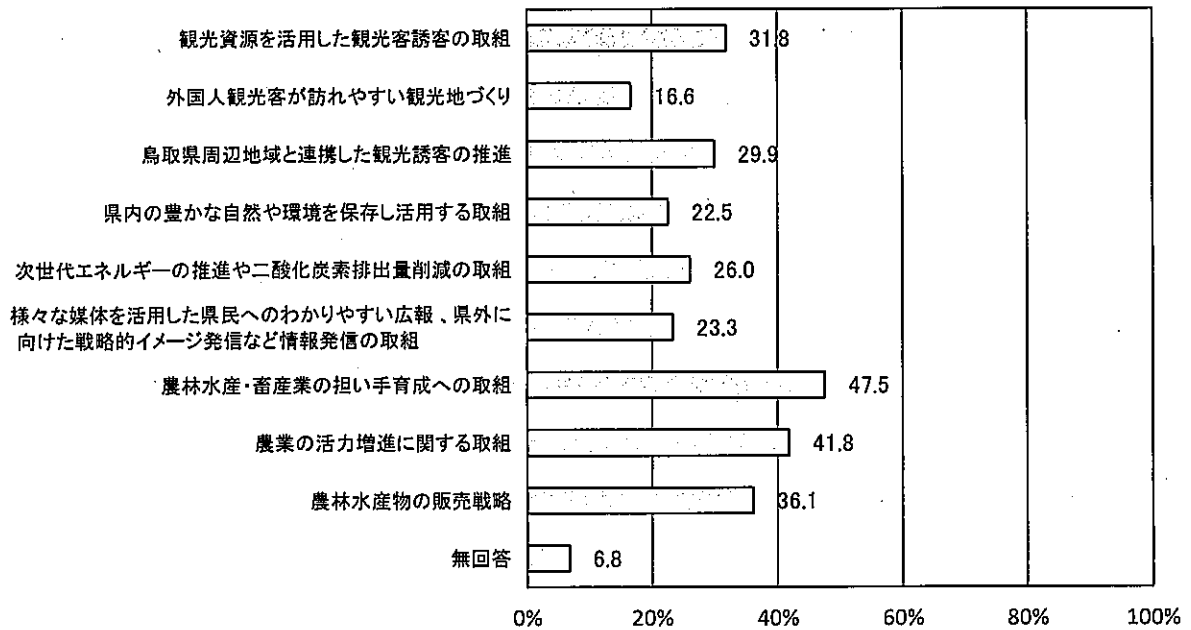
農林・畜産業の担い手育成や農業の活力増進の取組は『不満』を感じている～



(1-2) 今後優先すべき重要度の高い項目

～農林水産・畜産業の担い手育成や農業の活力推進について5割近くが優先すべきと回答～

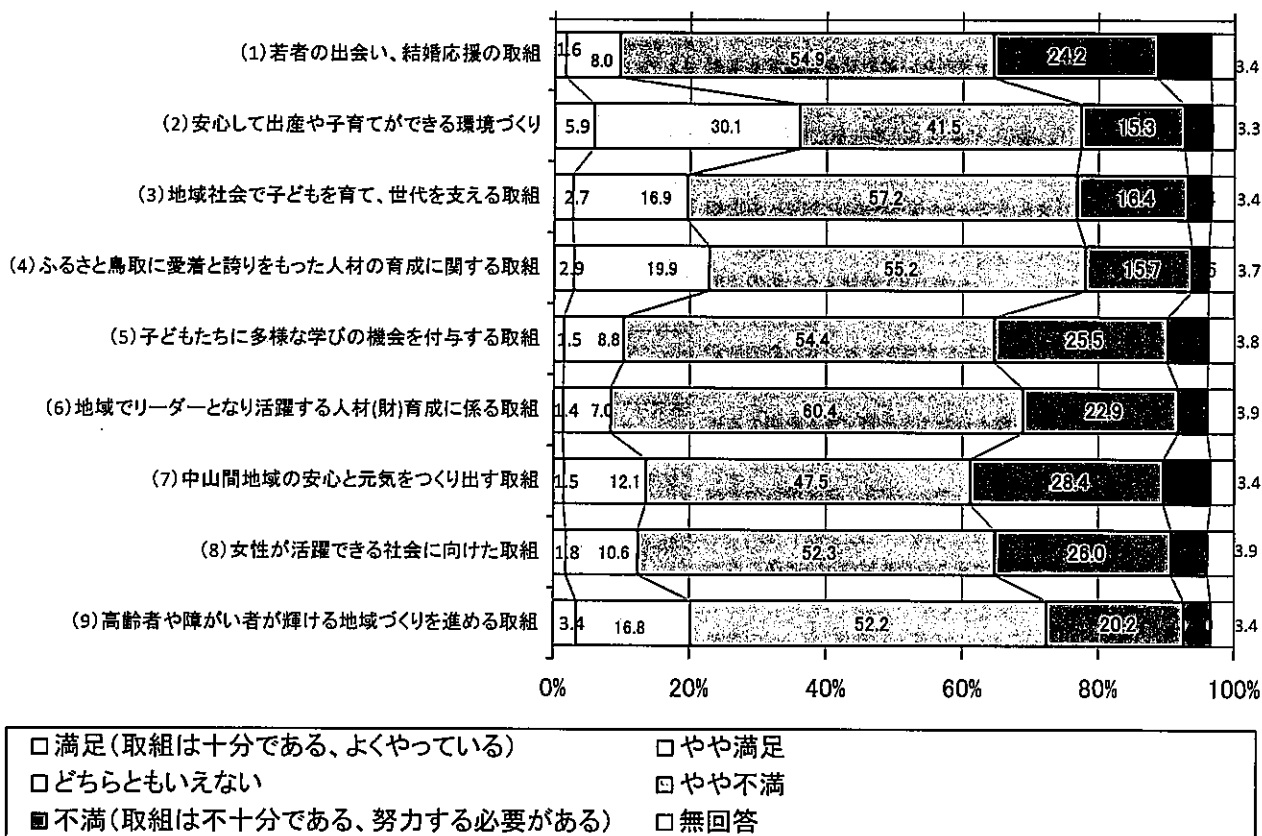
【3つまで】



(2-1) 人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む (問4【2】)

～安心して出産や子育てができる環境には『満足』と感じているが、

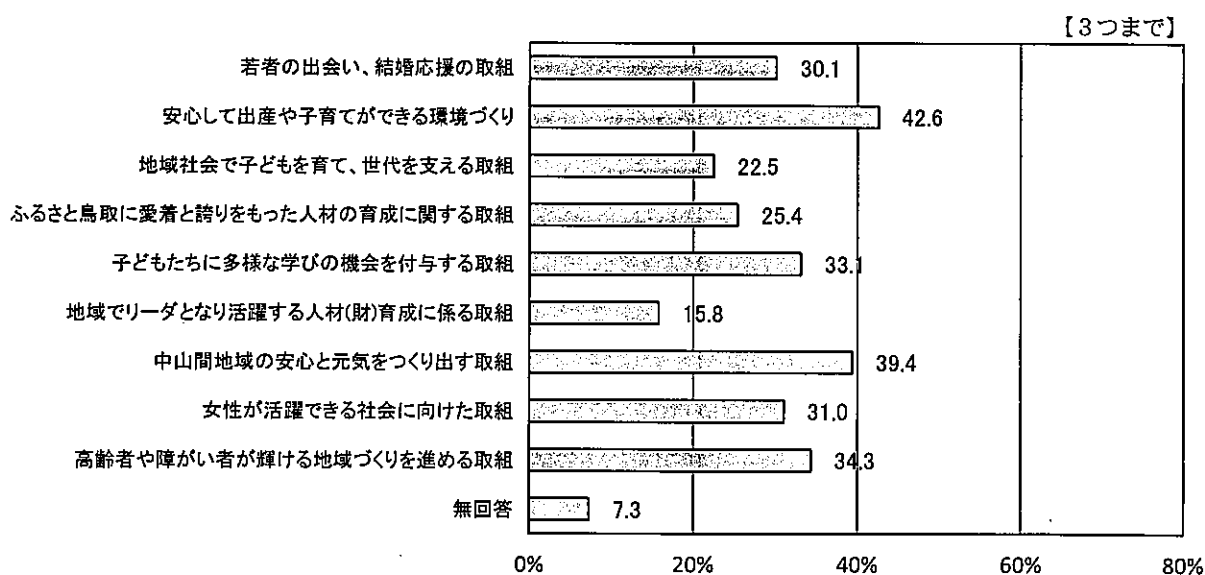
若者への結婚応援や中山間地域の支援については『不満』を感じている。～



(2-2) 今後優先すべき重要度の高い項目

～出産や子育ての環境づくりは4割が今後も優先すべきと回答し、

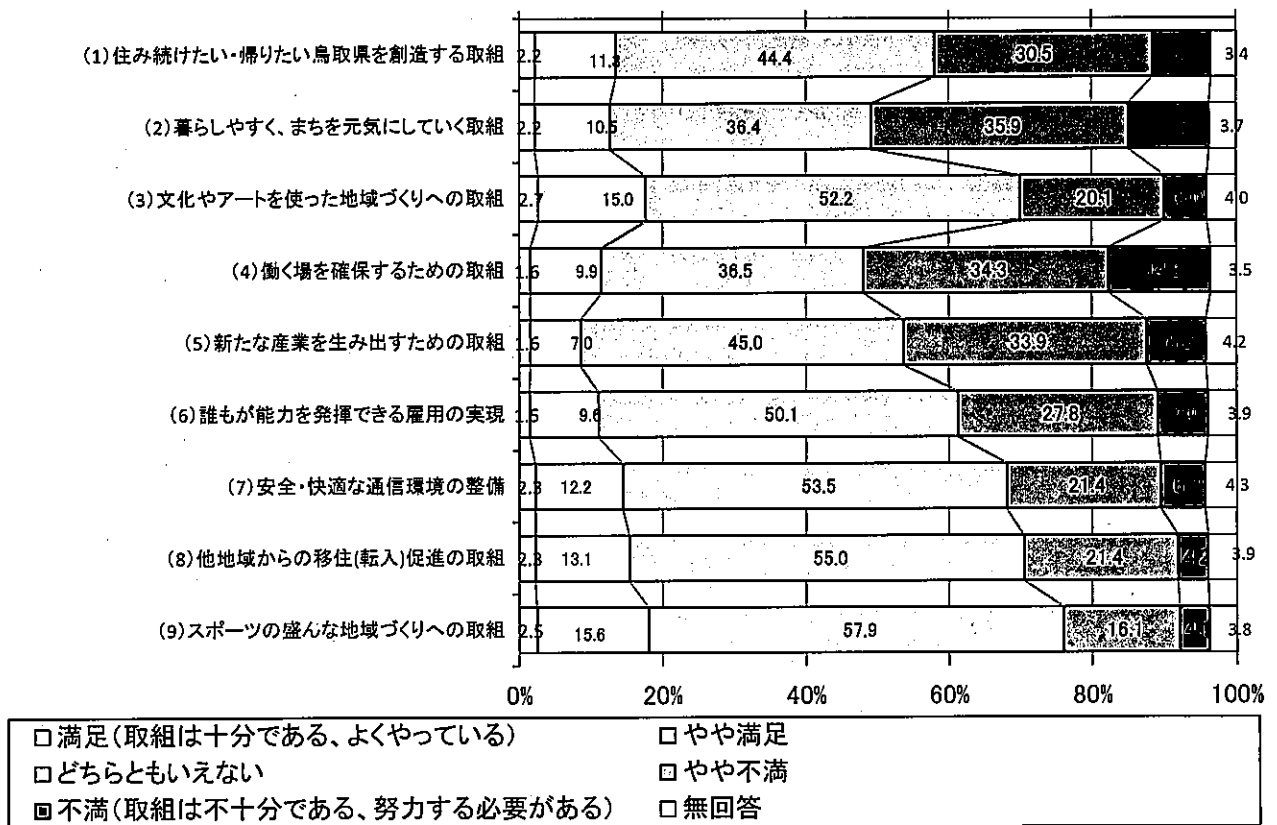
中山間地域への支援についても重要度が高いと回答～



(3-1) 幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ (問4【3】)

～文化やアート・スポーツ面の『満足』は感じているが、

働く場の確保や新たな産業の創出へは『不満』を感じている。～

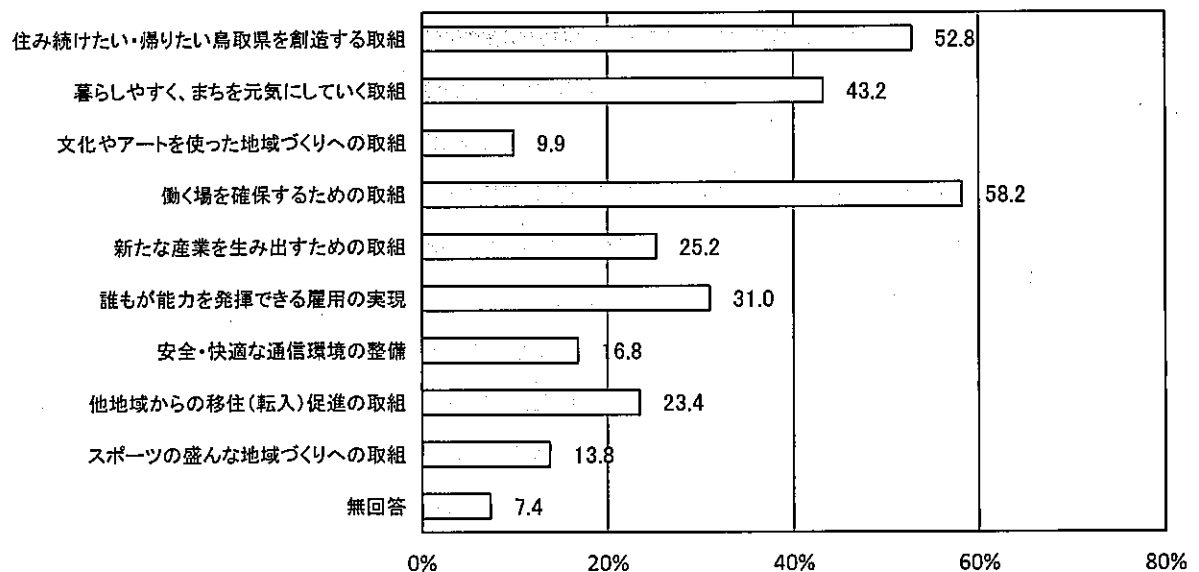


(3-2) 今後優先すべき重要度の高い項目

～働く場の確保等、住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造するための取組を

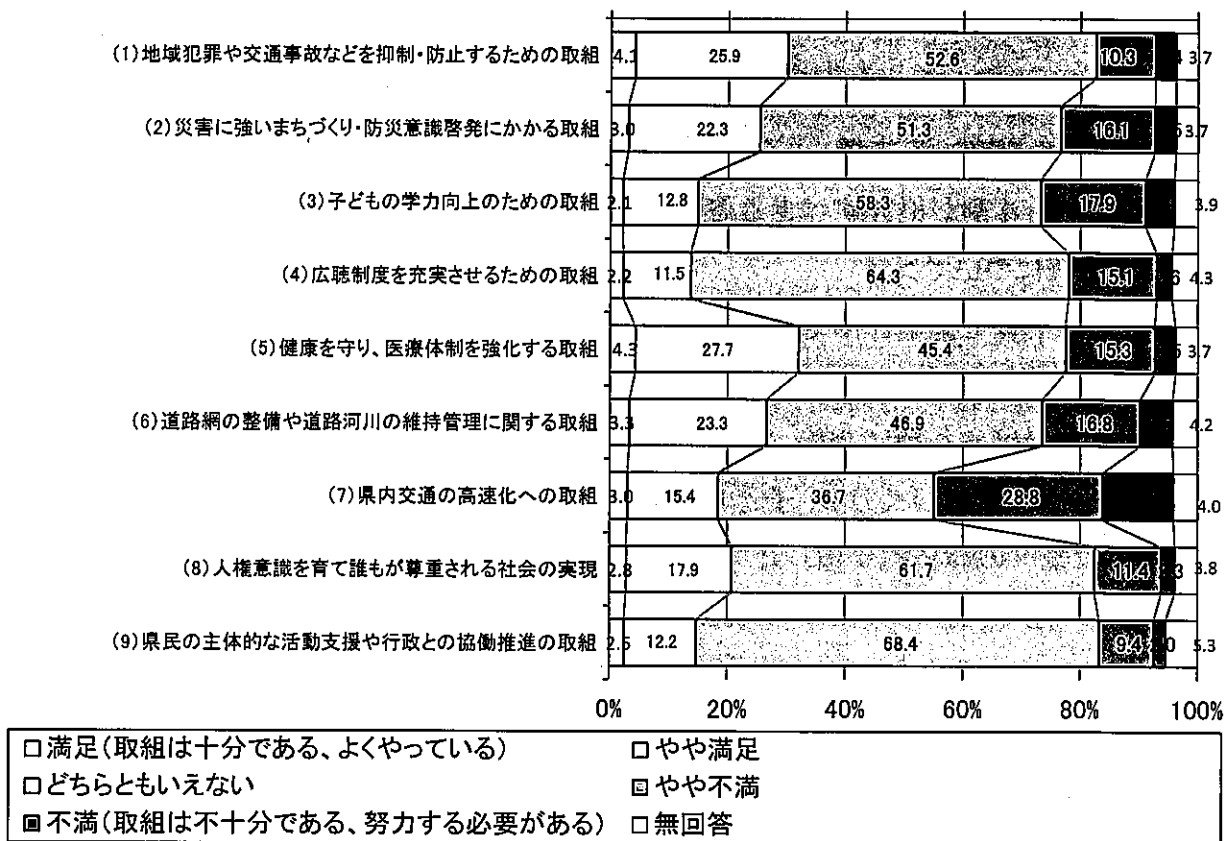
5割以上が優先すべきと回答～

【3つまで】



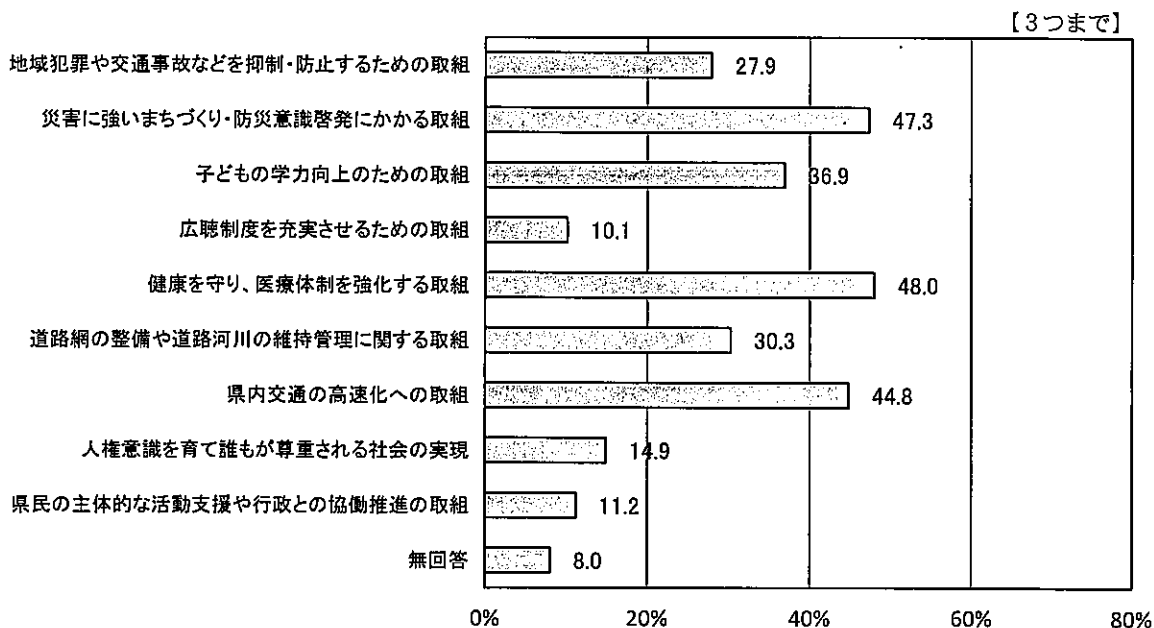
(4-1) 県政のさまざまな取組 (問4【4】)

～地域犯罪や交通事故等の抑制・防止や医療体制の強化については『満足』と感じているが、
道路網の整備等県内交通の高速化については『不満』を感じている。～



(4-2) 今後優先すべき重要度の高い項目

～医療体制の強化は今後も優先すべきと4割強が回答し、
災害についての啓発活動、高速化への整備を優先すべきと4割強が回答～



Ⅲ. 重点施策への関心・認識

<人口問題について>

- 鳥取県の人口減少予測について、約6割の人が「知っていて、関心もある」と答えている。
- 鳥取県の人口増への取組は、「雇用の場の創出」を優先すべきという意見が6割以上、また「結婚や出産への支援」「子育ての環境充実」「県外大学に進学した県内出身者のUターン促進」も4割が優先すべきと答えている。

<子育て施策について>

- 鳥取県の子育て施策の中では、「子育て王国とっとり」は7割以上、「とっとり子育て応援パスポート」については6割以上の人が知っていると答えている。
- 出生率を上げるために今後、強化が重要だと思う項目は、「出産・育児後のスムーズな職場復帰への環境づくり」「子どもを安心して預けられる体制の整備」「保育料の減免、子育て世帯への経済的支援」について6割強の人が強化が必要だと答えている。
- 鳥取県の婚活支援事業については、「積極的、あるいは行うべき」と7割弱が答えている。また、その理由として「出会いや結婚は重要な問題で行政の支援も必要」「少子化対策に繋がると思う」と5割弱の人が答えている。

<移住定住に関する施策>

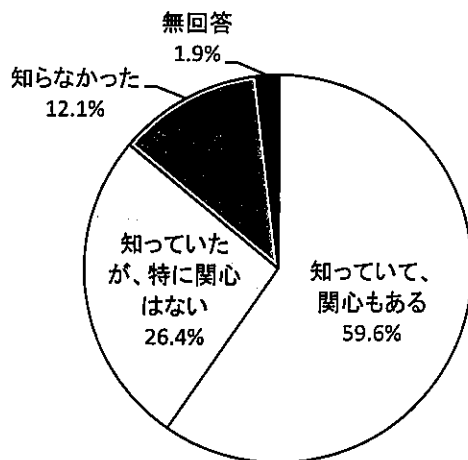
- 鳥取県の移住定住施策には、7割以上の人が「就職・起業・就農などの仕事の確保」、4割前後の人が「若い世代への移住定住の働きかけ」「鳥取県の住み良さについて積極的なPR」を強化することが必要と答えている。
- 鳥取県の住みよさを県外の方へアピールするには、8割の人が「自然が豊かである」、6割の人が「食べ物の安全性が高く、美味しい食べ物が多い」、約半数の人が「治安が良く、犯罪が少なく感じる」と答え、『自然、食、安全』をアピールした方が良いと答えている。

<就業や雇用に関する施策について>

- 『鳥取県正規雇用1万人チャレンジ計画』は、7割以上の人が「知らなかった」と答えている。
- 雇用や就業支援に関しての取組は、「企業誘致など働く場の確保」を強化すべきと6割以上が答えている。
- 今後、鳥取県において必要となる産業分野は、「医療・介護福祉産業」「農林水産・畜産業」と6割弱の人が答えている。

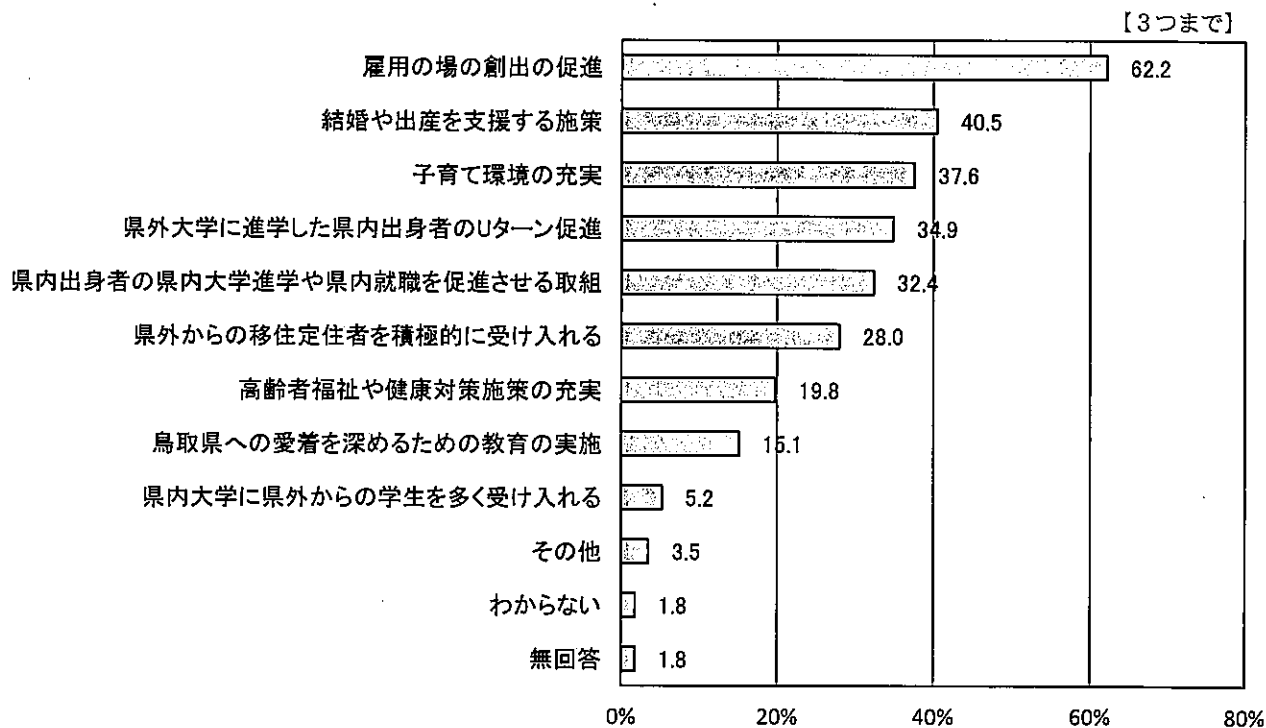
(1)鳥取県の人口減少予測について知っているか・関心があるか（問5）

～『知っている、関心もある』と6割近くが回答～



(2)鳥取県の人口増への取組として優先すべきと思う施策（問6）

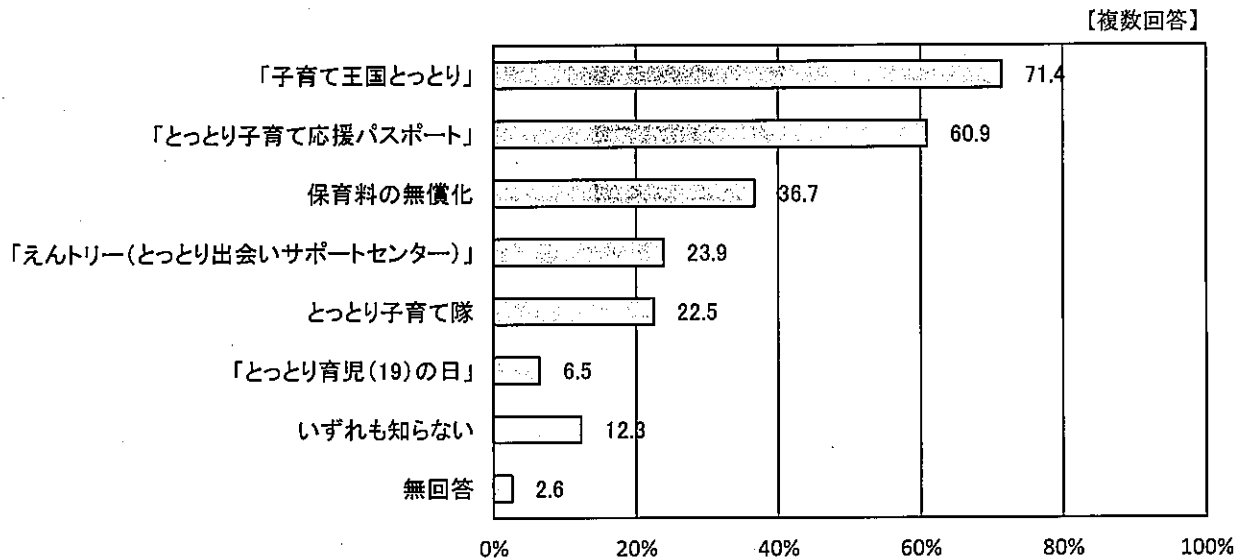
～雇用の場創出の促進を6割が優先すべきと高く、結婚や出産への支援も4割が優先すべきと回答～



<子育て施策について>

(1)鳥取県の子育て施策の中で知っているもの・聞いたことがあるもの（問7）

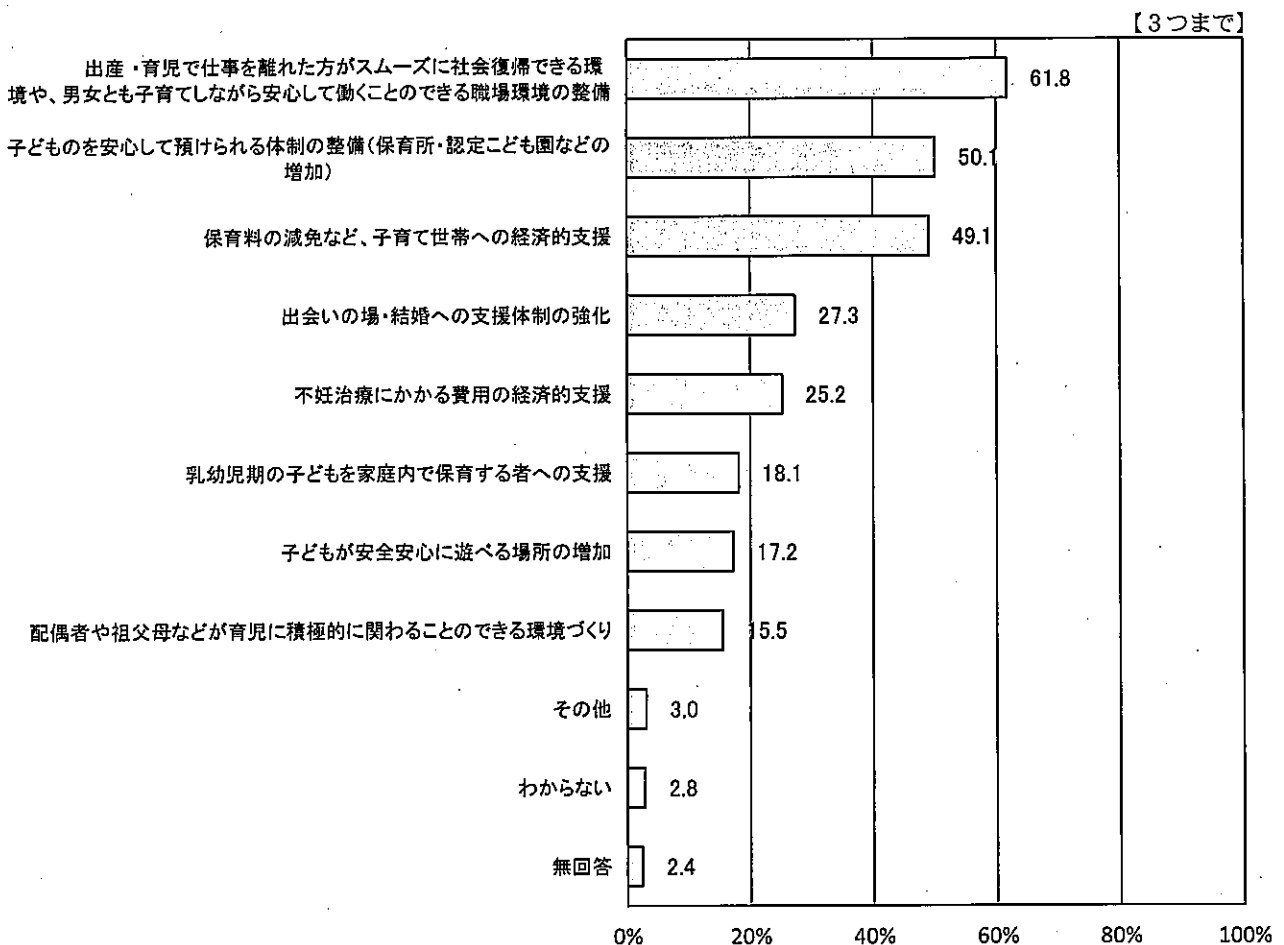
～『子育て王国とっとり』『とっとり子育て応援パスポート』については6割以上の認知度～



(2)出生率を上げるために今後強化が重要だと思う項目（問8）

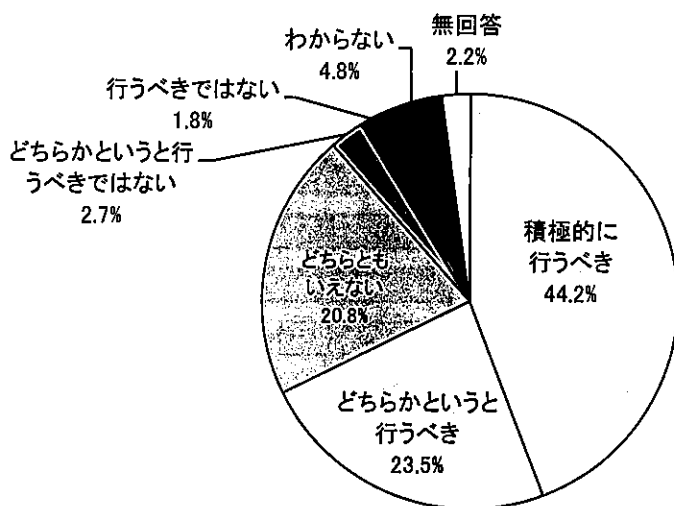
～出産・育児後のスムーズな職場復帰への環境づくりや、

男女とも安心して働き、子育てができる職場環境の整備について6割強が重要と回答～



(3-1) 鳥取県の婚活支援事業についての考え (問9)

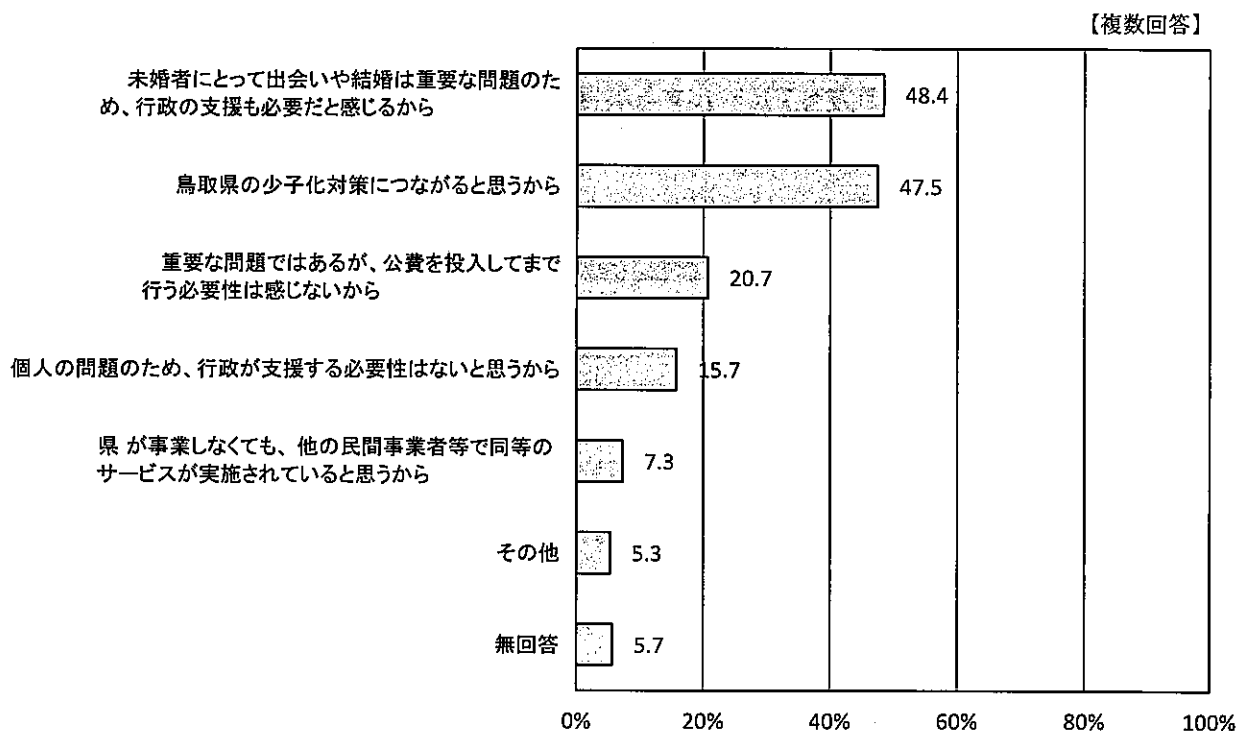
～『積極的に行うべき』・『どちらかというで行うべき』と6割が回答～



(3-2) 婚活支援事業を行うべきと回答した理由

～出会いや結婚は重要な問題で行政の支援も必要や、

支援が少子化対策につながると5割近くが回答～



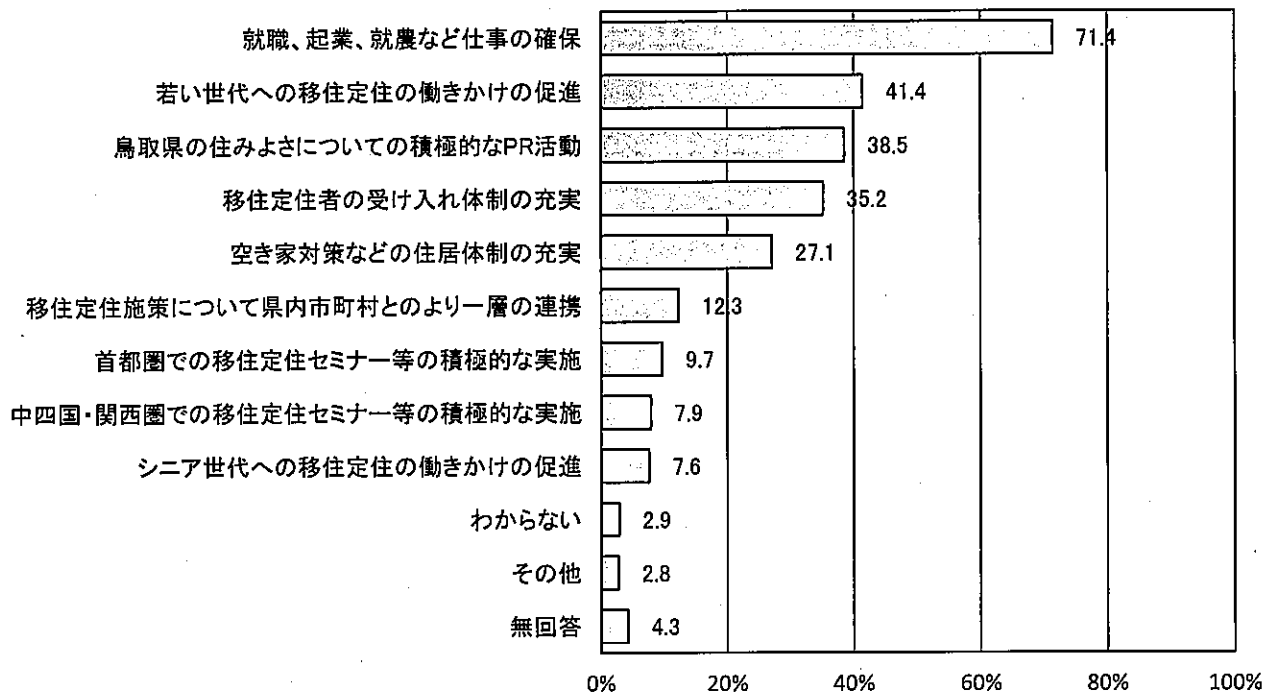
<移住定住に関する施策>

(1) 鳥取県の移住定住施策として強化が必要な施策（問11）

～就職・起業・就農などの仕事の確保が必要であると7割が回答し、

若い世代への働きかけも4割が必要であると回答～

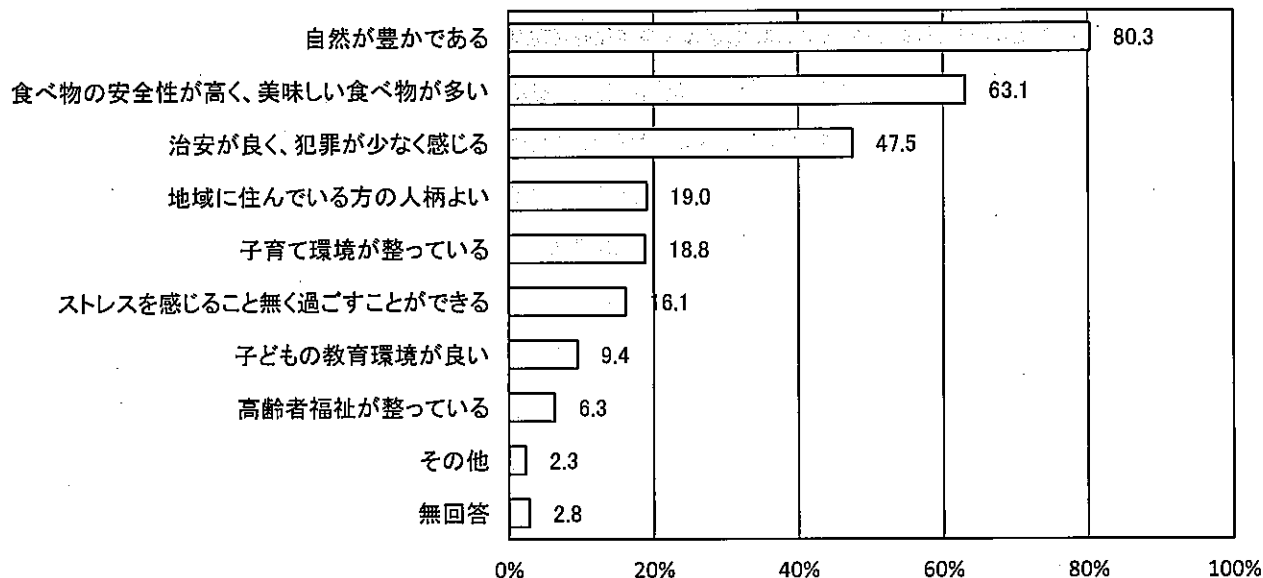
【3つまで】



(2) 鳥取県の住みよさを県外の方へアピールする項目（問12）

～『自然が豊かである』が8割、『食べ物の安全性が高く、美味しい食べ物が多い』が6割～

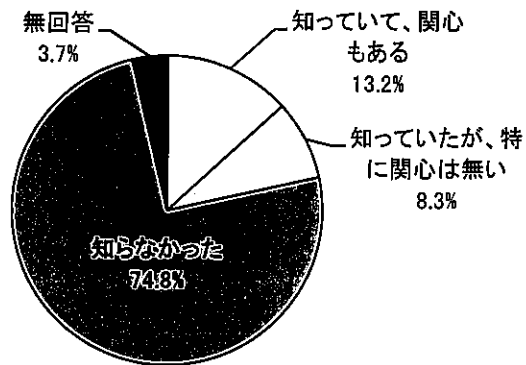
【3つまで】



<就業や雇用に関する施策について>

(1)『鳥取県正規雇用1万人チャレンジ計画』を知っているか・関心があるか（問14）

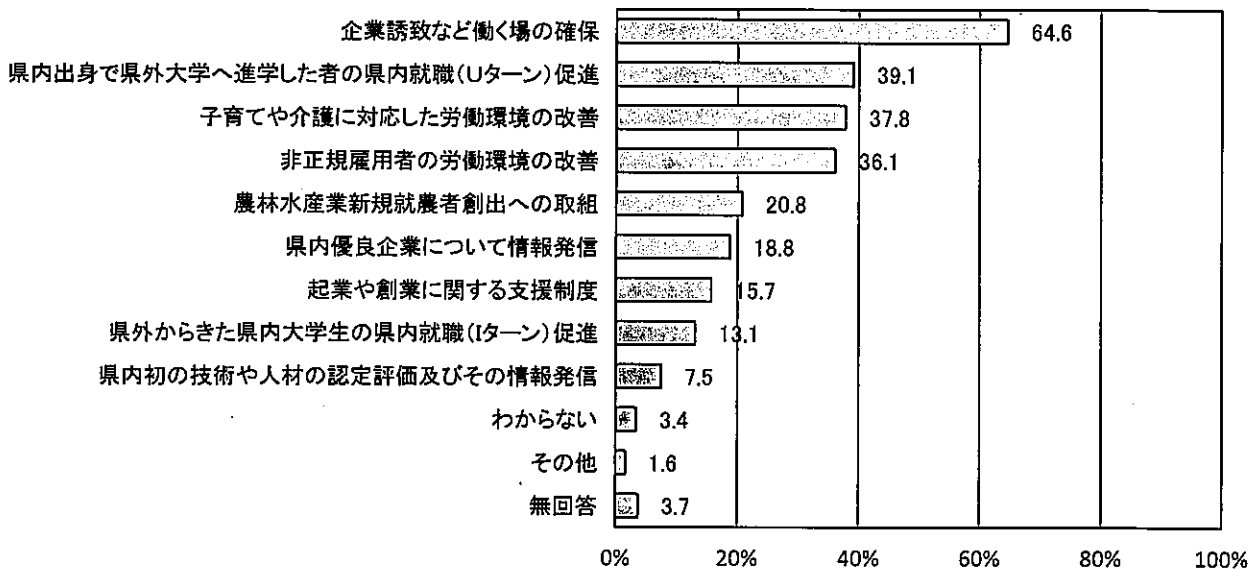
～『知らなかった』と回答の方が7割と認知度が低い～



(2)雇用や就業支援に関しての取組として強化が必要な施策（問15）

～企業誘致など働く場の確保を強化すべきと6割以上が回答～

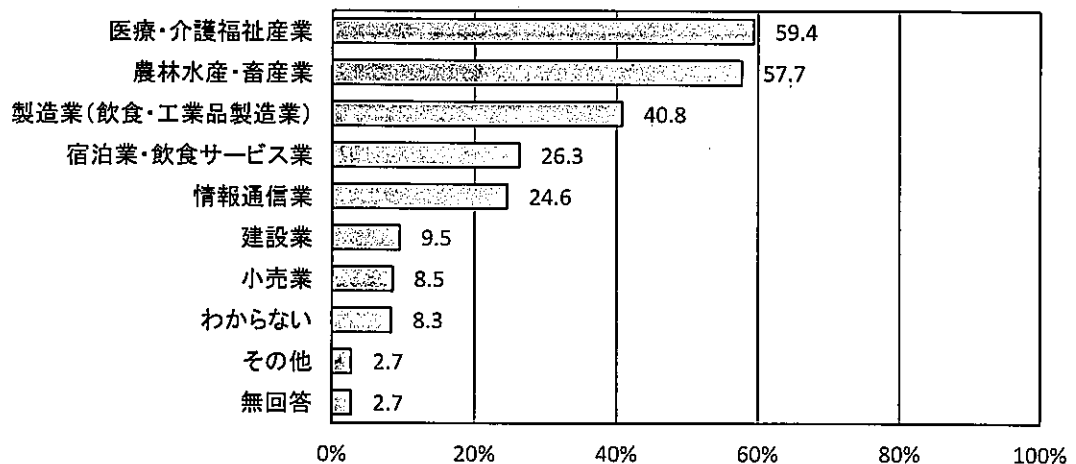
【3つまで】



(3)今後、鳥取県において必要となる産業分野(問16)

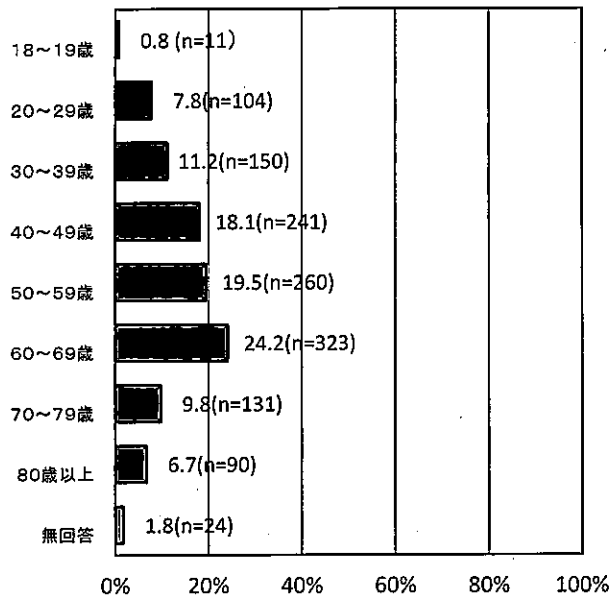
～今後の産業分野は、農林水産・畜産業や医療・介護福祉産業が必要と約6割が回答～

【3つまで】

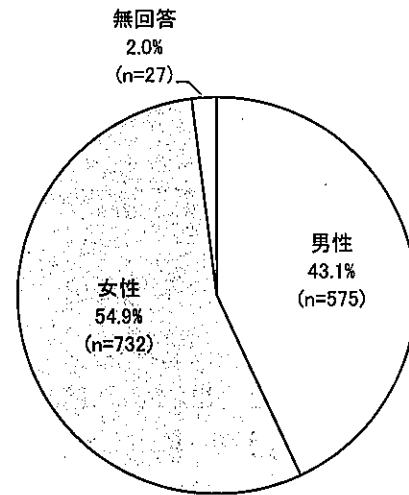


IV. 回答者の情報

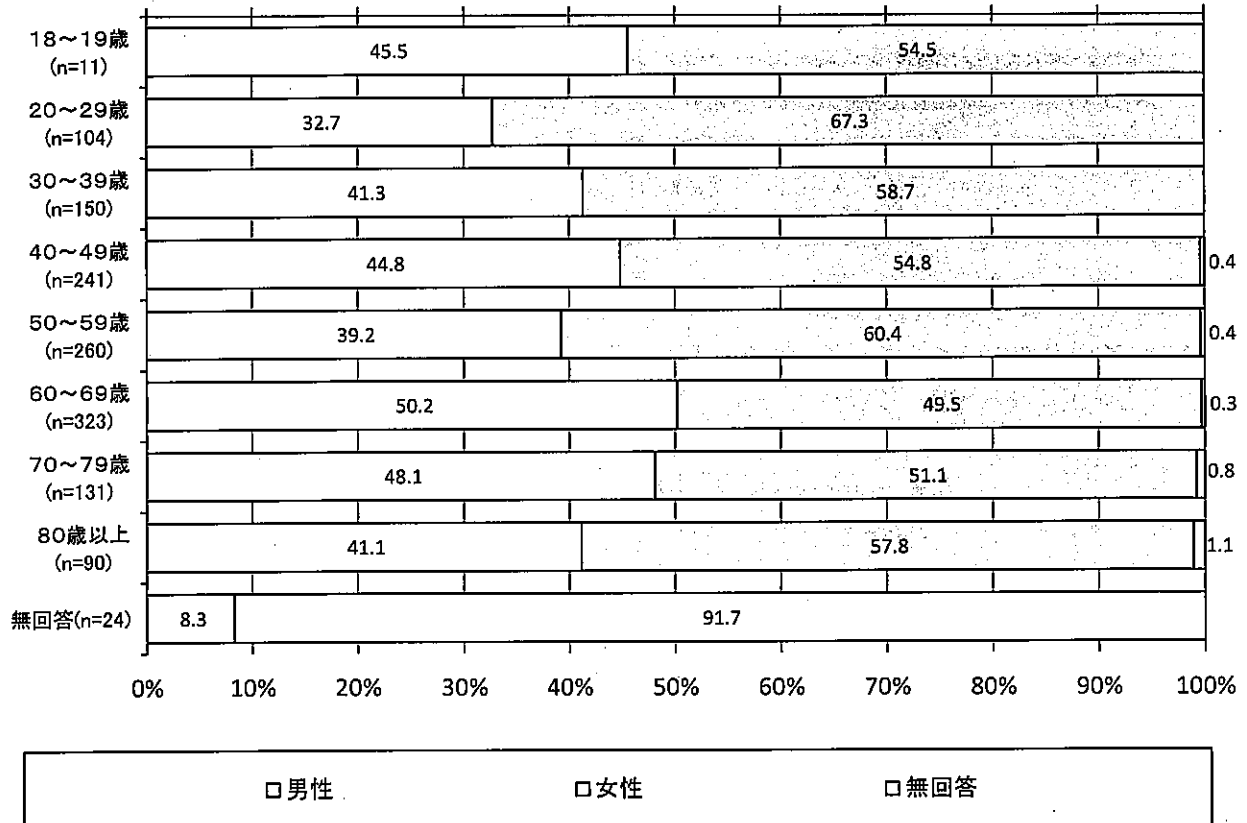
(1)年代 (問18)



(2)性別 (問19)



(3)性別 × 年代



鳥取県の政策に関する県民意識調査 御協力をお願い

日頃より県政の推進に御協力いただき、厚く御礼申し上げます。

鳥取県では、人口減少・少子高齢化の現在の状況下でも、住み慣れた地域で安心して暮らし続け、将来にわたって発展していくために、地方創生総合戦略「鳥取県元気づくり総合戦略」を策定するなどして、鳥取県の元気づくりを進めています。

この調査は、「鳥取県元気づくり総合戦略」に掲げる施策をはじめとした鳥取県政全般について、皆さんの関心や御意向・要望等を把握し、今後の県政推進の基礎資料として活かすため、無作為で選ばせていただいた県内在住の18歳以上の方3,000人を対象に実施をするものです。

お忙しいところ誠に恐れ入りますが、調査の趣旨を御理解いただき、御協力いただきますようお願いいたします。

<御記入にあたってのお願い>

- 封筒のあて名の方、御本人がお答えください。
(この調査は無記名ですので、お名前を記入していただく必要はありません。)
- 回答の仕方は、あてはまる番号に○をつけていただくものと、言葉や数字で必要なことから書き込んでいただくものがあります。選択肢のうち「その他」に○をされた方は()に具体的にお書きください。
- 調査の回答によって個人が特定されることや、お答えいただいた情報を調査目的以外に使用することは一切ありませんので、あなたの素直なお気持ちやお考えを御記入ください。
- 御記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて平成28年11月25日(金)までに郵便ポストに投函してください。(切手は不要です。)
- この調査について御不明な点などがありましたら、問合せ先まで御連絡ください。

【問合せ先】

鳥取県 元気づくり総本部 県民課
〒680-8570 鳥取市東町一丁目220
電話：0857-26-7848
ファクシ：0857-26-8112
電子メール：kenmin@pref.tottori.jp



I 鳥取県の住みやすさについて

問1) あなたは、鳥取県に対して愛着や誇りを感じていますか。(○は1つ)

1 感じている 2 少し感じている 3 どちらともいえない 4 あまり感じていない 5 感じていない

問2) あなたが、今暮らしている地域の住みやすさを教えてください。(○は1つ)

1 とても住みやすい 2 どちらかという住みやすい 3 どちらともいえない
4 どちらかという住みにくい 5 住みにくい

問3) あなたが今、鳥取県内に暮らしていて、次の項目(設問)についてどう思われますか、
項目ごとに表中のいずれかに○を記入してください。

設 問	選 択		
	そう 思う	どちらとも 言えない	そう 思わない
(1) 豊かな自然環境に恵まれている			
(2) 住んでいる住民(県民)が親切である			
(3) 地域での人と人とのつながりがある			
(4) 生活するにあたり、公共交通機関が整っている			
(5) 地域の防災組織が整っている			
(6) 地域の治安が良いと感じている			
(7) 子育て支援が充実している			
(8) 医療や介護の体制が充実している			
(9) 子どもの教育環境が充実している			
(10) ストレスなく日常生活を送ることができる			

II 鳥取県の施策の満足度と今後の優先度について

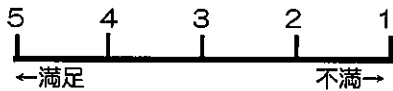
問4) 次ページより、鳥取県が実施している施策等について、政策分野別のあなたの満足度をお聞きしますので、それぞれ5段階で評価をお願いします。(1~5のいずれかの数字に○をしてください。) また、テーマごとに今後の優先度(重要度)が高いと思われる項目について3つずつお選びください。

【評価の基準の参考】

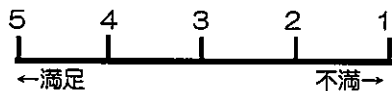
- 5・・・満足(取組は十分である、よくやっている)
- 4・・・やや満足
- 3・・・どちらともいえない
- 2・・・やや不満
- 1・・・不満(取組は不十分である、努力する必要がある)

豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる

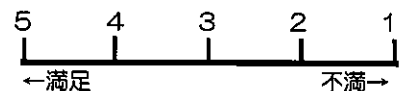
【1-1】観光資源を活用した観光客誘客の取組（観光地PR・観光地の受け入れ環境・おもてなし体制の整備など）



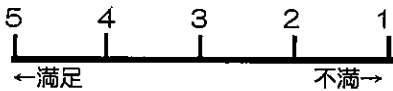
【1-2】外国人観光客が訪れやすい観光地づくり（海外定期航路・航空路の安定運行・観光地の外国語看板設置など）



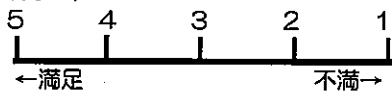
【1-3】鳥取県周辺地域と連携した観光誘客の推進（山陰、関西、中国地方など県域を越えた観光連携など）



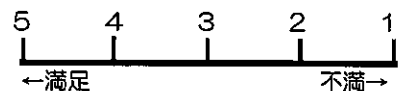
【1-4】県内の豊かな自然や環境を保存し活用する取組（森林保全、ラムサールやジオパークなどの利活用など）



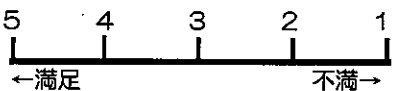
【1-5】次世代エネルギーの推進や二酸化炭素排出量削減の取組（太陽光の活用やノーレジ袋運動やリサイクルの実践など）



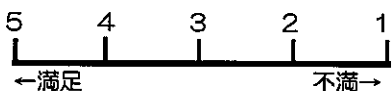
【1-6】様々な媒体を活用した県民へのわかりやすい広報、県外に向けた戦略的イメージ発信など情報発信の取組



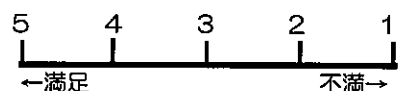
【1-7】農林水産・畜産の担い手育成への取組（後継者育成、新規就業者への技術研修・経営支援など）



【1-8】農業の活力増進に関する取組（地産地消の推進、就農者所得増大、農業ビジネス創出など）



【1-9】農林水産物の販売戦略（農林水産品のブランド化や加工品等6次産業化、国内外への販路の拡大など）

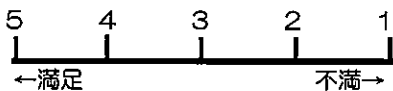


このうち、あなたが今後優先すべき（重要度が高い）と思う項目を3つお選びください。（項目の数字をお書きください）

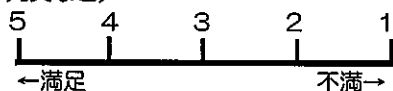
【1- 】 【1- 】 【1- 】

人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む

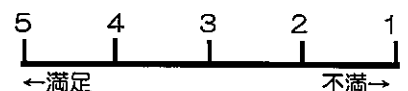
【2-1】若者の出会い、結婚応援の取組（企業・団体と協働した若者の出会いの場づくり、結婚応援事業の展開など）



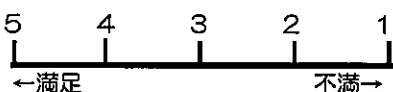
【2-2】安心して出産や子育てができる環境づくり（経済的負担軽減や保育所待機児童ゼロなど多様な子育て支援の充実など）



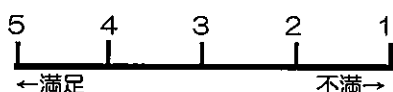
【2-3】地域社会で子どもを育て、世代を支える取組（子育てサークル育成、三世代同居支援など）



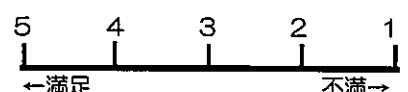
【2-4】ふるさと鳥取に愛着と誇りをもった人材の育成に関する取組（学校での郷土愛を育む教育、公民館活動など地域における社会教育活動など）



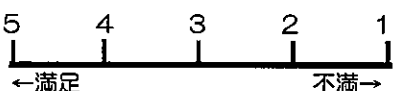
【2-5】子どもたちに多様な学びの機会を付与する取組（海外留学、資格取得支援、貧困の連鎖を断ち切る学習支援など）



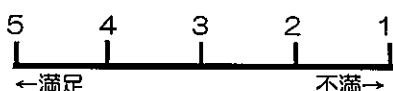
【2-6】地域でリーダーとなり活躍する人材（財）育成に係る取組（キャリア教育、インターンシップ支援など）



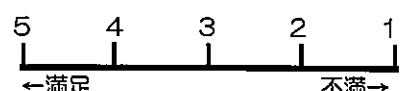
【2-7】中山間地域の安心と元気をつくり出す取組（見守り支援、買い物・移動など生活支援サービスの充実など）



【2-8】女性が活躍できる社会に向けた取組（リーダー育成、出産育児介護等による休職・離職後の復職支援など）



【2-9】高齢者や障がい者が輝ける地域づくりを進める取組（技能を活かした活躍の場づくり、芸術文化・スポーツ振興など）

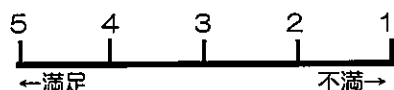


このうち、あなたが今後優先すべき（重要度が高い）と思う項目を3つお選びください。（項目の数字をお書きください）

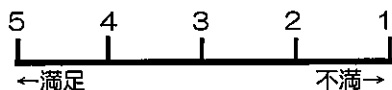
【2- 】 【2- 】 【2- 】

幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ

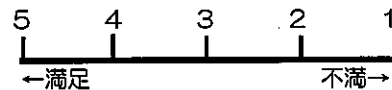
【3-1】住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造する取組（若者定着、県外進学大学生へのUターン就職情報発信など）



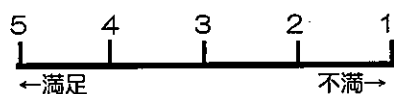
【3-2】暮らしやすく、まちを元気にしていく取組（駅前や商店街の活性化、コミュニティ拠点等賑わい創出など）



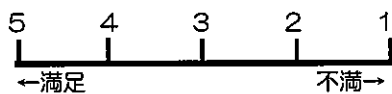
【3-3】文化やアートを使った地域づくりへの取組（文化芸術活動を支える人材育成、文化芸術鑑賞機会の提供など）



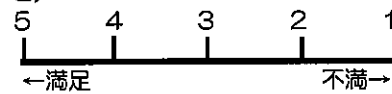
【3-4】働く場を確保するための取組（企業誘致、成長産業の立地、正規雇用拡大への取組など）



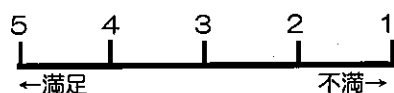
【3-5】新たな産業を生み出すための取組（起業創業支援、若者の創業促進への支援など）



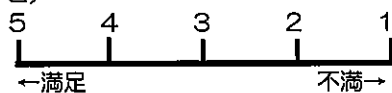
【3-6】誰もが能力を発揮できる雇用の実現（就業支援、障がい者雇用、高齢者雇用、ワークライフバランスの推進など）



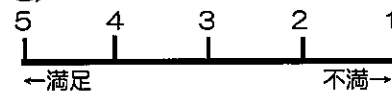
【3-7】安全・快適な通信環境の整備（超高速情報通信網整備、超高速モバイル通信電波（4G）のエリア拡大など）



【3-8】他地域からの移住（転入）促進の取組（移住につながる情報発信、空き家マッチング、相談サポートの充実など）



【3-9】スポーツの盛んな地域づくりへの取組（生涯スポーツ推進や競技団体の合宿誘致、競技力向上に向けた取組など）

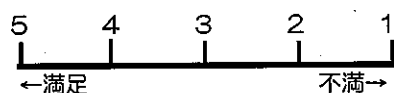


このうち、あなたが今後優先すべき（重要度が高い）と思う項目を3つお選びください。（項目の数字をお書きください）

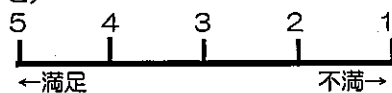
【3- 】 【3- 】 【3- 】

県政のさまざまな取組

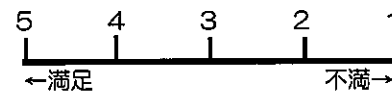
【4-1】地域犯罪や交通事故などを抑制・防止するための取組（防犯対策、交通安全対策など）



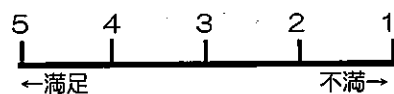
【4-2】災害に強いまちづくり・防災意識啓発にかかる取組（河川治山の災害防除、自主防災組織強化、避難所確保など）



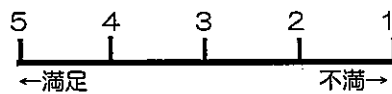
【4-3】子どもの学力向上のための取組（基礎学力向上、教員の指導力強化など）



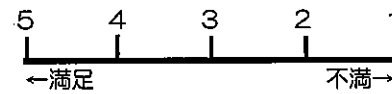
【4-4】広聴制度を充実させるための取組（行政情報の透明性や公開度、公文書開示制度、意見募集手法の拡充など）



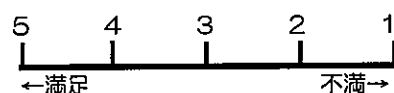
【4-5】健康を守り、医療体制を強化する取組（地域医療の確保、介護予防、介護・医療の連携、運動習慣の定着、検診受診促進など）



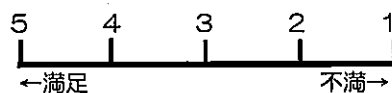
【4-6】道路網の整備や道路河川の維持管理に関する取組（県道・河川整備や維持管理など）



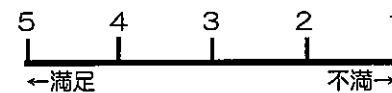
【4-7】県内交通の高速化への取組（山陰新幹線整備、高速道路等の4車線化など）



【4-8】人権意識を育て誰もが尊重される社会の実現（学校、地域における人権学習の拡充、新たな人権課題の啓発など）



【4-9】県民の主体的な活動支援や行政との協働推進の取組（県民活動支援、団体・NPO・企業など多様な主体とのパートナーシップの強化など）



このうち、あなたが今後優先すべき（重要度が高い）と思う項目を3つお選びください。（項目の数字をお書きください）

【4- 】 【4- 】 【4- 】

Ⅲ 重点施策への関心・認識

ここでは、鳥取県が重点的に施策を展開している事業についての認識や意識をお聞きしますので、それぞれの設問別に該当する選択肢に○をお願いします。

問5) 鳥取県の人口は約57万人(H28、10月現在)ですが、今後も減少していくと予想されています。このことについて御存知でしたか、また関心がありますか。(○は1つ)

- | | | |
|---------------|------------------|----------|
| 1 知っていて、関心もある | 2 知っていたが、特に関心は無い | 3 知らなかった |
|---------------|------------------|----------|

問6) 鳥取県の人口増への取組として優先すべきだと思う施策を3つお選びください。(○は3つまで)

- | | | |
|-----------------------------|-------------------------|------------|
| 1 高齢者福祉や健康対策施策の充実 | 2 結婚や出産を支援する施策 | 3 子育て環境の充実 |
| 4 県内出身者の県内大学進学や県内就職を促進させる取組 | 5 雇用の場の創出の促進 | |
| 6 県内大学に県外からの学生を多く受け入れる | 7 県外大学に進学した県内出身者のUターン促進 | |
| 8 県外からの移住定住者を積極的に受け入れる | 9 鳥取県への愛着を深めるための教育の実施 | |
| 10 わからない | | |
| 11 その他() | | |

<子育て施策について>

問7) 鳥取県で行われている子育て施策(もしくは名称・フレーズ)です。あなたが御存知のもの・聞いたことがあるものをお選びください。(○はいくつでも可)

- | |
|---|
| 1 「子育て王国とっとり」 |
| 2 「えんトリー(とっとり出会いサポートセンター)」(未婚者の男女の出会い・結婚への支援制度) |
| 3 「とっとり子育て応援パスポート」(応援パスポート提示により協賛店で各種サービスを受けられる制度) |
| 4 「とっとり育児(19)の日」(毎月19日。子育てを積極的に進めていく日) |
| 5 とっとり子育て隊(地域で子育てを支え合うための登録制度) |
| 6 保育料の無償化(H27年9月より第3子以降の保育料無償化、H28年4月より第1子と同時在園の第2子の保育料無償化(所得制限有り)) |
| 7 いずれも知らない |

問8) 出生率を上げるために、次のどの項目を今後強化していくべきだと思いますか。あなたが重要だと思う項目を次の中から3つお選びください。(○は3つまで)

- | | |
|---|-----------------------------------|
| 1 不妊治療にかかる費用の経済的支援 | |
| 2 子どもを安心して預けられる体制の整備(保育所・認定子ども園などの増加) | |
| 3 乳幼児期の子どもを家庭内で保育する者への支援 | 4 保育料の減免など、子育て世帯への経済的支援 |
| 5 子どもが安全安心に遊べる場所の増加 | 6 配偶者や祖父母などが育児に積極的に関わることでできる環境づくり |
| 7 出産・育児で仕事を離れた方がスムーズに社会復帰できる環境や、男女ともに子育てしながら安心して働くことのできる職場環境の整備 | 8 出会いの場・結婚への支援体制の強化 |
| 9 わからない | |
| 10 その他() | |

問9) 鳥取県では、結婚を希望する未婚の男女に出会いの場を提供するなど、婚活を支援する事業を行っていますが、このことについてどうお考えですか。(〇は1つ)

- | | | |
|--------------------|----------------|-------------|
| 1 積極的に行うべき | 2 どちらかというを行うべき | 3 どちらともいえない |
| 4 どちらかというを行うべきではない | 5 行うべきではない | 6 わからない |

(前問の選択理由をお教えてください。〇はいくつでも可。)

1 未婚者にとって出会いや結婚は重要な問題のため、行政の支援も必要だと感じるから	
2 鳥取県の少子化対策につながると思うから	3 重要な問題ではあるが、公費を投入してまで行う必要性は感じないから
4 個人の問題のため、行政が支援する必要性はないと思うから	
5 県が事業をしなくても、他の民間事業者等で同等のサービスが実施されていると思うから	
6 その他 ()	

問10) 鳥取県の子育て施策に関して御意見がありましたら、御自由にお書きください。

--

<移住定住に関する施策について>

問11) 鳥取県の移住定住施策として強化していく必要があると思われる施策を次の中から3つお選びください。(〇は3つまで)

- | | |
|----------------------------|-----------------------------|
| 1 首都圏での移住定住セミナー等の積極的な実施 | 2 中四国・関西圏での移住定住セミナー等の積極的な実施 |
| 3 若い世代への移住定住の働きかけの促進 | 4 シニア世代への移住定住の働きかけの促進 |
| 5 移住定住施策について県内市町村とのより一層の連携 | 6 鳥取県の住みよさについての積極的なPR活動 |
| 7 就職、起業、就農など仕事の確保 | 8 移住定住者の受け入れ体制の充実 |
| 9 空き家対策などの住居体制の充実 | 10 わからない |
| 11 その他 () | |

問12) あなたが鳥取県の住みよさを県外の方にアピールするとしたら、何をアピールしますか。次の中から3つお選びください。(〇は3つまで)

- | | |
|--------------------------|-------------------------|
| 1 自然が豊かである | 2 食べ物の安全性が高く、美味しい食べ物が多い |
| 3 子育て環境が整っている | 4 子どもの教育環境が良い |
| 5 高齢者福祉が整っている | 6 治安が良く、犯罪が少なく感じる |
| 7 ストレスを感じることも無く過ごすことができる | 8 地域に住んでいる方の人柄が良い |
| 9 その他 () | |

問13) 鳥取県の移住定住施策に関して御意見がありましたら御自由にお書きください。

--

IV 回答者の情報

最後に、回答者の属性（年代や性別）などをお答えください。該当する項目に○印をお願いします。なお、この情報はアンケート集計以外には利用いたしません。

問18) 年代

- | | | | |
|------------|------------|------------|------------|
| (1) 18～19歳 | (2) 20～29歳 | (3) 30～39歳 | (4) 40～49歳 |
| (5) 50～59歳 | (6) 60～69歳 | (7) 70～79歳 | (8) 80歳以上 |

問19) 性別

- | | |
|--------|--------|
| (1) 男性 | (2) 女性 |
|--------|--------|

問20) お住まいの住所

- | | | | | |
|----------|----------|----------|----------|-----------|
| (1) 鳥取市 | (2) 米子市 | (3) 倉吉市 | (4) 境港市 | (5) 岩美町 |
| (6) 八頭町 | (7) 若桜町 | (8) 智頭町 | (9) 湯梨浜町 | (10) 三朝町 |
| (11) 北栄町 | (12) 琴浦町 | (13) 南郷町 | (14) 伯耆町 | (15) 日吉津村 |
| (16) 大山町 | (17) 日南町 | (18) 日野町 | (19) 江府町 | |

問21) 職業

- | | | |
|----------------|-------------------|---------------|
| (1) 会社員（公務員含む） | (2) 自営業（家族従業者も含む） | (3) パート・アルバイト |
| (4) 学生 | (5) 専業主婦（主夫） | (6) 無職 |

問22) 鳥取県での居住歴

- | | | | |
|----------|----------|-----------|-----------|
| (1) 1年未満 | (2) 5年未満 | (3) 10年未満 | (4) 10年以上 |
|----------|----------|-----------|-----------|

以上で質問は終わりです。御協力ありがとうございました。